

牟中だより 校訓「愛知・自治・敢為」 82名のみんなと保護者の皆様へ

発行日11月 1日

発行者 校長 三浦恵子

オープンスクール・ふれあい体験学習に たくさんの保護者の方々の参加をお願いします

11月7日(火)・8日(水)に小学校、中学校ともにオープンスクールを開催します。平日でお忙しいとは思いますが、普段の生徒たちの学習ぶりや休み時間の様子、そして、教職員と生徒との関係、校舎内外の環境等を見ていただけたらと思います。

8日午後には、3年生の生徒・保護者のみなさんを対象に海部高校の説明会を実施します。今年度の海部高校の取組を聞いていただき進路決定の一助として欲しいと思います。また、26日(日)には、地域の匠といわれる方々の協力を得て、生徒達が保護者のみなさんと共に学ぶ「ふれあい体験学習」を実施します。8コース程度開催する予定です。コースが決まり次第お知らせしますので、とどしとどしご参加ください。そして18日には、PTAの奉仕作業もあります。とんぼ公園の整備等をお願いしたいと思ひます。台風等の影響で傷んだところも多いです。

今月は、保護者の方々にたくさんご参加・ご協力をお願いすることが多いですが、よろしくお祈りします。

10月30日の朝会の話から

今年は例年より秋が短く、冬が早く来ているように思ひます。寒くなって、中学校の玄関のケヤキの木も毎朝、風に舞い落ちてはあちらこちらにたまっています。この葉はいつまで落ちるのでしょうか。全部落ちてしまうまで落ち続けます。サクラやイチョウも同じです。これらの木は冬の間、一枚も葉っぱのない状態で春を迎えます。サクラやイチョウのように葉っぱが全部落ちてしまう木を落葉樹といひます。落葉樹は寒くなると葉っぱの色も変わって黄色や赤色になります。ではなぜ、冬になると全部葉っぱが落ちるのでしょうか。冬には寒くて雨があまり降りません。だから寒さと乾燥から身を守るために葉を落として活動を止めます。夏の間太陽の光を一生懸命あびて栄養分を蓄えているそうです。

反対に1年中、葉がついている木があります。くすのきや松、クリスマスツリーに使うもみの木などがあります。1年中、葉がついている木を常緑樹といひます。では常緑樹は冬に葉っぱを落とさずにいられるのはなぜでしょうか。常緑樹は冬の寒さや乾燥に耐えるために葉を厚くしたり、形を小さくして寒さや乾燥に絶える工夫をしているから1年中葉っぱをつけていられるのだそうです。寒さや乾燥から守るための生き物の工夫はすごいです。木1本1本が異なる対応の仕方・工夫をしています。みなさんも一人一人異なります。一人一人が色々な生き方・充実した生き方するためには、工夫していかなければなりません。中学校という環境の中で、しっかり工夫して自分の能力や持ち味に磨きをかけ、向上させてください。

先日の音楽祭や統一大会での研究演奏に参加した人は、一生懸命取り組むことで自分自身を向上させました。素晴らしい発表をするためには生半可な取組ではだめだったことでしょう。しんどいこともあったと思ひます。色々な機会を通して自分自身を高めていくことが大切だと思ひます。

頑張りました研究演奏！！

10月27日栄喰中学校でおこなわれた県中音楽研究大会に、牟岐中生も参加しました。総合的な学習の時間の成果として「牟岐みたと節」を、3年生が他校生と共に混声合唱で藤村さん、中川さんのピアノ伴奏にあわせ「いつまでも」「ふるさと」を披露しました。



郡新人戦 駅伝大会 応援ありがとうございました

10月12日(木) 郡中新人大会がおこなわれバスケット男子、ソフトテニス女子、剣道女子が団体優勝、バスケット女子が準優勝でした。10月31日(火)郡中駅伝大会が海陽コースでおこなわれました。

牟岐中学校 男子Aチーム 準優勝
区間賞 1区 小澤幸真
5区 家段武蔵
6区 和田倅明

県新人大会も始まっています。また県駅伝大会も11月12日に鳴門でおこなわれます。引き続きご声援よろしくお祈りします。

